



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月26日
上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社
コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 数原 滋彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215
四半期報告書提出予定日 2023年11月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	53,129	6.0	8,093	25.2	9,112	21.1	6,222	21.5
2022年12月期第3四半期	50,123	12.4	6,464	18.2	7,525	24.4	5,120	21.5

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 11,825百万円 (49.7%) 2022年12月期第3四半期 7,898百万円 (31.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	114.24	—
2022年12月期第3四半期	92.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	141,596	113,886	78.9	2,055.54
2022年12月期	130,801	105,002	78.8	1,874.99

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 111,703百万円 2022年12月期 103,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	16.50	—	18.50	35.00
2023年12月期	—	18.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	20.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有
2. 2023年12月期の期末配当金20円は、特別配当金2円を含んでおります。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	5.8	10,700	15.8	11,500	13.5	8,900	28.0	163.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	63,286,292株	2022年12月期	63,286,292株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	8,943,558株	2022年12月期	8,305,522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	54,463,545株	2022年12月期3Q	55,380,682株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年9月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更に伴い、物価上昇の影響を受けつつも、コロナ禍での行動制限によるペントアップ需要の顕在化などを背景とした個人消費の緩やかな回復により、社会経済活動において正常化の基調が見えてきました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や原材料費、エネルギーコストなどの高騰といった不確実性が高いリスクに加え、世界的なインフレ圧力とそれに伴う欧米を中心とした金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れ懸念は依然として継続しており、先行き不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く外部環境といたしましては、デジタル化やペーパーレス化の進展といった影響から、国内外問わず、事務用品としての筆記具需要は依然として厳しい状況が続いております。一方、国内市場では、人口減少と少子高齢化という構造的問題を抱えつつも、機能性にとどまらない付加価値のある商品へのニーズの高まりに加え、訪日外国人の増加に伴うインバウンド需要の回復やイベント等の開催によるノベルティ需要の増加といった明るい兆しも見え始めつつあります。海外市場に目を転じると、北米・欧州を中心に筆記具におけるアート&クラフト需要がボーダレスに拡大しております。また、サステナビリティへの関心の高まりをはじめとするニーズの多様化がより一層進むなか、こういった外部環境の変化に対応し、お客様の求める価値を具現化し続けていかなければ、生き残っていくことが難しい状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループは、「書く、描く」を通じた“表現体験そのもの”を創造することで、すべての人が生まれながらにして持つ個性や才能といった「ユニーク」を表現する機会を創り出すことが、お客様への提供価値ととらえ、「違いが、美しい。」というコーポレートブランドコンセプト（企業理念）に基づき、活動してまいりました。オフィシャルスポンサーとして「鉛筆工場」パビリオンを出展しているキッザニア東京の特設スペースで、水性サインペン「POSCA（ポスカ）」を使って木製のコマにペインティングして表現を楽しむお子様向けのワークショップイベントを開催しました。また、「自分らしさ」をテーマに表現する第2回アートコンテストをオフィシャルパートナー「パラリンアート」と開催し、表現体験を後押しするための活動の一つとして実施しました。他方、「ノート、くっきりキマる。」ゲルインクボールペン「uni-ball one（ユニボール ワン）」シリーズで、「最も黒いゲルインクボールペン“Blackest gel ink ball pen”」としてギネス世界記録TM認定を受けました。「uni-ball one」シリーズは新開発のビーズパック顔料を使用しており、黒はより濃く、カラーはより鮮やかに発色するため、ノートを見返したときに印象に残りやすい文字を書くことができます。この「uni-ball one」シリーズより、さりげない色遊びで気分が盛り上がるモダンポップカラー「uni-ball one F」を発売いたしました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は53,129百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は8,093百万円（前年同期比25.2%増）、経常利益は9,112百万円（前年同期比21.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,222百万円（前年同期比21.5%増）となりました。

セグメント別の業績を概観いたしますと、筆記具及び筆記具周辺商品事業におきましては、欧州を中心に海外市場での販売が堅調に推移し、加えて国内市場での個人需要の緩やかな回復、また為替による押し上げ効果により、外部顧客への売上高は51,422百万円（前年同期比6.2%増）となりました。粘着テープ事業、手工芸品事業といったその他の事業におきましては、事業を取り巻く市場環境は依然として厳しく、外部顧客への売上高は1,706百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、主に現金及び預金や投資有価証券が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて10,795百万円増加し141,596百万円となりました。

負債は、主に固定負債のその他に含まれる繰延税金負債や賞与引当金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて1,911百万円増加し27,709百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて8,884百万円増加し113,886百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年2月13日に公表しました連結売上高、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正しております。詳しくは、2023年10月26日公表の「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,074	54,503
受取手形及び売掛金	16,309	14,244
棚卸資産	20,354	22,101
その他	1,916	2,367
貸倒引当金	△281	△293
流動資産合計	86,373	92,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,481	14,177
その他（純額）	9,498	9,456
有形固定資産合計	23,980	23,634
無形固定資産	1,224	1,143
投資その他の資産		
投資有価証券	16,497	21,017
その他	4,006	4,317
貸倒引当金	△1,281	△1,438
投資その他の資産合計	19,222	23,896
固定資産合計	44,427	48,674
資産合計	130,801	141,596

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,070	8,512
短期借入金	1,516	1,624
未払法人税等	1,207	1,512
賞与引当金	612	1,277
その他	5,924	5,586
流動負債合計	17,330	18,514
固定負債		
長期借入金	2,577	2,037
退職給付に係る負債	3,312	3,291
役員退職慰労引当金	92	58
その他	2,484	3,808
固定負債合計	8,467	9,195
負債合計	25,798	27,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,964	3,978
利益剰余金	91,838	96,074
自己株式	△7,104	△8,004
株主資本合計	93,195	96,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,205	9,623
為替換算調整勘定	3,197	5,101
退職給付に係る調整累計額	488	432
その他の包括利益累計額合計	9,892	15,157
非支配株主持分	1,914	2,183
純資産合計	105,002	113,886
負債純資産合計	130,801	141,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	50,123	53,129
売上原価	25,579	25,995
売上総利益	24,543	27,133
販売費及び一般管理費	18,079	19,040
営業利益	6,464	8,093
営業外収益		
受取利息	20	52
受取配当金	203	236
受取地代家賃	50	39
受取保険金	9	16
助成金収入	11	18
為替差益	782	684
その他	59	76
営業外収益合計	1,136	1,124
営業外費用		
支払利息	19	17
シンジケートローン手数料	29	25
投資事業組合管理費	—	45
その他	26	16
営業外費用合計	75	105
経常利益	7,525	9,112
特別利益		
固定資産売却益	68	8
投資有価証券売却益	—	2
関係会社清算益	33	—
特別利益合計	102	10
特別損失		
固定資産除売却損	35	44
特別損失合計	35	44
税金等調整前四半期純利益	7,592	9,079
法人税等	2,383	2,595
四半期純利益	5,208	6,483
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	261
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,120	6,222

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	5,208	6,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	316	3,417
為替換算調整勘定	2,420	1,980
退職給付に係る調整額	△47	△56
その他の包括利益合計	2,690	5,341
四半期包括利益	7,898	11,825
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,740	11,487
非支配株主に係る四半期包括利益	158	337

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	48,405	1,718	50,123	—	50,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	16	17	△17	—
計	48,406	1,734	50,141	△17	50,123
セグメント利益	6,371	74	6,446	18	6,464

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	51,422	1,706	53,129	—	53,129
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	16	17	△17	—
計	51,422	1,723	53,146	△17	53,129
セグメント利益	7,975	95	8,071	21	8,093

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。